

講義コード	1100001302
講義名	数的処理Ⅰ（フードビジネス学科）
開講期	2021年度後期
⑤単位数	1単位
②授業形態	講義
⑥担当教員	落合 洋文、野村 聡
ナンバリングコード	19F1Z1105

③科目概要	本講義では統計学の基礎的な概念を応用し、日常生活で出会う様々な問題について考えます。それによって統計数字の意味を理解することができるようになるだけでなく、大学生や社会人に求められる数的処理能力が養われるはずで。特にビッグデータを活用するデータサイエンスはフードビジネス業界では必須の教養になりつつあります。本講義を履修することでデータサイエンスを学ぶために必要な数的センスを身につけることができます。
①達成目標	本講義では、平均、標準偏差、正規分布と標準正規分布など、高校でも学んだ数学概念を社会的な文脈の中で活用することにより、単に技術的な操作に慣れるだけでなく、むしろそれらの概念の意味を深く理解できるようになる。また1人で考えるだけでなく、友人と議論し、考えを自分の言葉で表現できる。
履修に必要な予備知識や技能（関連科目等）	簡単な四則演算の能力、度数分布表などの表作成法、ヒストグラムの描き方など、高校卒業までに修得した基礎力を前提とします。
学位授与方針との関連	大学ディプロマポリシー立学の精神に則った知識・技術の修得関連する科目です
④授業計画、授業外学習の内容及び必要な時間	
第1回	チェックシートによる学力診断およびデータを起点としたものの見方について考えてみる。たとえば（１）調査データから予防接種は効果があったといえるか 復習に60分
第2回	統計データの意味について考えてみる（２）東京スカイツリーの入場料は高いか安い（比較するためにはどんな調査データが必要かデータ解析の前提を学ぶ。） 復習に60分
第3回	統計データの意味について考えてみる（３）経費内訳から見た外食産業 復習に60分
第4回	統計データの意味について考えてみる（４）流通やサービス業におけるデータ・AIの利活用の事例としてABC分析の基礎を学びこれからのマーケティングやサービスのあり方を理解する。 復習に60分
第5回	統計データの意味について考えてみる（５）給与で会社を選ぶなら１（さまざまな平均値） 復習に60分
第6回	統計データの意味について考えてみる（６）ビッグデータの活用例として加重平均と消費者物価指数について考える 膨大な数の調査データから景気の動向を判断したり予測したりする方法。 復習に60分
第7回	統計データの意味について考えてみる（７）給与で会社を選ぶなら２（データのばらつきを測る尺度、標準偏差） 復習に60分
第8回	ビッグデータの活用を前提とすると、調査データから各種の平均と標準偏差を駆使してどこまで社会を分析し、未来を予測できるかやってみよう 復習に60分 総合問題
第9回	この週から数的処理Ⅱ

第10回		数的処理Ⅱ		
第11回		数的処理Ⅱ		
第12回		数的処理Ⅱ		
第13回		数的処理Ⅱ		
第14回		数的処理Ⅱ		
第15回		数的処理Ⅱ チェックテスト		
講義進行方法、課題へのフィードバック方法		この授業は演習形式で行います。1人で問題を解くだけでなく、周りの人と相談したり議論したりしながら、また必要ならネットで情報を検索して条件を設定して問題を解くことも必要です。教員は2名で授業を進め、討論には必要なら教員も加わり、サポートします。この授業はルーブリックを用いて学修管理を行います。成績フィードバック期間において成績・課題に関する質問やフィードバックを受け付けます。		
アクティブラーニング		ディスカッション、ディベート		
講義前・講義後の自主的学修活動への助言		勉強がわからなくなる最大の原因は、用語の定義や式の意味が理解できないことです。わからない言葉や式が出てきたら、すぐに先生に質問するか、自分で調べるようにしましょう。また授業中や復習の際に必要な情報をネットで検索することも必要です。		
⑦成績（達成度）評価方法・評価基準、割合		成績評価は学期末のチェックテストで行います。100%		
教員の実務経験と授業科目との関連				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『毎回、資料を配布します。』				
参考図書など				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考URL				
NO	表示名	URL	説明	
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				